

# ファミ・サポ通信

No.59 2018/11

今年、日本各地で災害が繰り返し発生しました。倉敷市真備町の7月豪雨も「晴れの国」をうたう岡山では、近年経験のない被害となりました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に、被災された方々にお見舞い申し上げます。

さて、平成23年の春、サブ・リーダーさんの提案で始まった月1回の「ミニさろん」は、今年7年目を迎えています。親の気分転換を目的にノンプログラムで「さん・さん」の和室を会場に開催しています。

部屋の広さを考えれば、参加者とスタッフを含めると少し手狭な感じですが、その互いの距離間が、会話ができる間合いでもあるようです。親子も提供会員もくつろげる場にと、気負わないスタイルが長続きの秘訣かもしれません。

誰にとっても、受け止めてもらえる人とつながる居場所があると良いですね。きっと元気でいられます。

ふらっと来てみてください。思った以上にくつろげますよ。



「ミニさろん」はこんな感じでのんびりやっています。

\*毎月第4水曜日 10:30~12:00 開催です。

参加はいつ来てもいつ帰ってもOKです。

## 交流会の報告

5月30日(水)  
成名公民館で開催  
「出前ミニさろん」



11月12日(月)  
提供会員交流会  
「箸袋、箸置きでお正月準備」



講師の  
香山景子さん



お正月らしい  
華やかな箸袋  
ができてよか  
ったわ~。



ファミ・サポで活動  
している人の話も聴  
けたので、私もして  
みようかなって思い  
ました。

今日習ったことを  
友だちに教えてあ  
げようと思います。

水引で作る“淡路結  
び”、ちょっと難しか  
ったけど、マスターで  
きたので家でも作っ  
てみるわ。



# 子育てサポート講習会の報告



## 6/6 「安全・事故予防」 役立つ 子どもの応急手当

講師 津山圏域消防組合 職員

サポート活動や子育てに役立つようにと、毎年開催している救命講習会です。今年度は実技の時間を多く設け、成人と乳児の人形を使って、心臓マッサージ・人工呼吸・AEDの使用を体験しました。

さらに、乳幼児に起こりやすい身近な事故の対処の仕方や予防の大切さについても細かくお話いただきました。

参加された方たちは、質問も交えながら熱心に受講されました。

### アンケートより

- ・何かあった時は焦ってしまうと思うが、講習を受けたことで少しは落ち着いて対処できるかもしれないと心強くなった。また、周りの人との協力も大切だということもわかった。
- ・自信を持って対処できるように、何度も繰り返し講習を受けておきたいと思った。
- ・丁寧な指導のもと、実技もゆったり行え、ありがたかった。



## 8/2 「子どもの世話」 子どもの発達別 事故防止のポイント

講師 野條 朋子さん（津山市健康増進課 保健師）

子どもの死亡原因の順位について、0才～4才の子どもは病気の次に事故によるものが多く、5才以上の子どもは、事故による死亡が1位であることが紹介されました。

室内の場所ごとに予測される事故について考えて、住環境を整えたり、子どもの行動を予測したりすることで、防ぐことができる事故がたくさんあると学びました。

野條さん自身の子育て中の体験談、また、参加者から物がのどに詰まったときに対処（背部叩打法）した経験などの話もあり、具体的に注意すべき点がわかったとの声がありました。

### アンケートより

- ・ちょうど子どもが動き始め、どういうことが起こるか不安だったので、お話が聴けて良かったです。親の心の準備も必要ですね。
- ・2人目の子育ては、1人目の時より親の気を付け方が甘くなっていると思い反省しました。
- ・大人が生活している家庭に、子どもを受け入れるので、危険を防止する作業を早めに行いたいです。
- ・保健師さんにいただいた資料は見直しておこうと思います。体験談が聞かれ、来て良かったです。



## 10/14 「病気・看護」 知っておきたい子どもの病気と対応のしかた

講師 松尾 直光さん（河原内科・松尾小児科クリニック院長）

子どものかかる主な疾患（発熱、咳、嘔吐、ひきつけ、感染症、中耳炎・肘内障、乳幼児突然死症候群、アレルギー）や予防接種のほか、児童虐待の現状、メディアが子どもの脳に及ぼす影響などを詳しく説明して頂きました。中には「健康や特定の病気へのかかりやすさは、胎児期や生後の乳幼児期の環境の影響を強く受けて多くが決定される」という考え（DOHaD）の紹介もありました。また、病児保育室「こどもデイケアルームさくら」の話もあり、受講者は熱心に聴いていました。

### アンケートより

- ・たくさんの内容を説明していただいたので、ありがたいと思いました。情報の多いのはサポートする上で安心のもとになります。
- ・医療は日進月歩なので、こういった会に定期的に参加するのは大切だと思います。
- ・今年出産し、子どもと過ごす中で病気に対する不安もありました。正しい知識を得ることで少し不安も和らぎました。わかりやすいお話をしていただきありがたうございました。参加してよかったです。
- ・幅広い小児の疾患や状態を知ることができました。犬や食物アレルギーについて具体的な資料を見ることで理解しやすかったです。

# お知らせ

「さん・さん祭り2018」で

## ☺ クリスマス交流会

日時：12月9日（日）  
13：30～15：00

内容：・人形劇、手遊びなど  
（読み聞かせボランティア  
「たんぼぼの家」  
・サンタさんからのプレゼント

参加費：ひとり150円  
定員：100人（先着順）

\*会場はアルネ・津山5階「さん・さん」

## ☺ 子育てサポート講習会

### 「栄養と食生活」子どもの発達に応じた食事

日時：2019年1月31日（木） 10：30～12：00

講師：湯浅 貴恵さん（市健康増進課栄養士）

内容：子どもの発達に応じた食事や発育を支える栄養について

申込み締切：1月28日（月） \*託児あり。要申込

## ☺ 子育てサポート講習会

### 「子ども達の健やかな成長のために

#### ～児童虐待のない津山をめざして～

日時：2019年3月6日（水） 10：30～12：00

講師：高見 典幸さん（市こども子育て相談室室長）

内容：津山市の児童虐待の現状など

申込み締切：3月3日（日） \*託児あり。要申込

①今回は佐々木正美さん（児童精神科医）の「ひとり親でも子どもは健全に育ちます」を紹介します。佐々木さんが倉敷市の川崎医療福祉大学教授だった時、津山にも何度も自閉症療育の講演に来られたわね。

②この本の中に「母性と父性を順序とバランス良く与えればひとり親でも子どもは健全に育ちます。」という言葉があるけど、とても印象的だったわ。

③「母性とは子どもをありのままに認めてあげる力。許容し、承認する力。極端に言うとな条件に我が子を愛することが母性的な愛情の本質。」同感！

⑦また、「いろいろな人の手を借りた子育てが子どもの育ちを豊かにする」と言われ、保育園や支援センターの施設やファミ・サポなどのサービスを利用して親以外の人と接することで、親とは異なる愛情や社会的な規範を自然に学び、視野が広がるそうなのね。

⑥母性をきちんと与えられている子どもは、自分に自信が持て、他者を受け入れる力につながっていくそうなの。

⑤「人間の中には、母性的なものや父性的なものも存在し、この順番と量のバランスがとても重要で、母性が十分与えられていると、父性的なものは後からでも身に付く。」だから二役ができるのね。

④「一方、父性とは、規律や規則、約束や責任を子どもに教える力。いわゆる社会性を身に付けさせること。そこに基づく愛情が父性的な愛情。」そうだね。

### アドバイザーの ふあみ・ばなし

「さん・さん」図書コーナーより本の紹介です  
佐々木正美さんの「子どもへのまなざし」も3冊ありますよ。

お問い合わせ 津山ファミリー・サポート・センター TEL:31-8753 FAX:31-2534  
☎708-8520 津山市新魚町17番地 アルネ・津山5階「さん・さん」内  
<開館時間> 月・水～金曜日 10：00～19：00 土・日 10：00～18：00  
<休館日> 毎週火曜日・祝日・年末年始  
会員数 1041人（依頼会員：541人 提供会員：449人 両方会員：51人） H30/10/31現在